

# 演習

---

豊島区介護予防ケアマネジメント・介護予防支援計画作成研修

豊島区高齢者福祉課 基幹型センターグループ

平成30年9月12日(水)

「平成28年度 介護予防ケアマネジメント  
実務者研修」(厚生労働省)より引用

# 本日の演習の内容

演習1 ストレングス(強み)を考える

演習2 要支援1・2の認定者についてイメージする

演習3 基本チェックリストから読み取れること

演習4 基本チェックリストで不足している情報

演習5 できること していること

# 豊島区の介護予防と自立支援型ケア マネジメント(基本的な考え方)

---

- 1 本人主体と尊厳の保持
- 2 全人的なアプローチ
- 3 心身機能の維持増進
- 4 社会の中の役割を意識した支援
- 5 専門職としての認識と実践

# 総合事業における介護予防ケアマネジメント（第1号介護予防支援事業）

---

居宅介護支援被保険者等の介護予防を目的として、厚生労働省令に定める基準にしたがって、**その心身の状況、その置かれている環境その他の状況に応じて、その選択に基づき**、第1号訪問事業、第1号通所事業又は第1号生活支援事業その他の適切な事業が包括的かつ効率的に提供されるよう必要な援助を行う事業

（法115条の45第1項の二）

# 総合事業における介護予防ケアマネジメント（第1号介護予防支援事業）

---

介護予防・日常生活支援総合事業の趣旨として

「ケアマネジメントの中で、**本人が目標を立て**、その達成に向けてサービスを利用しながら一定期間取り組み、達成後は**より自立へ向けた次のステップ**に移っていくことを、本人にも説明する」ことが必要です。

「介護予防・日常生活支援総合事業のガイドライン」より

# 東京都地域ケア会議推進部会のまとめ ～地域包括ケアシステムの構築に向けて～ (平成26年3月)

---

「自立」とは、「人が要支援・要介護状態になっても、可能な限りできる範囲で、可能な限り自分らしい生活を営むこと、**自分の人生に主体的・積極的に参画し自分の人生を自分自身で創っていくこと**」と定義付けることができる。

つまり、何らかの援助を受けながらも、自分らしく生きていくことが「自立」において何より重要な要素であり、そのための支援が「自立支援」である。

よって、本人の意思を無視して「サービスありき」の支援や「状態の改善」を強要する支援を行うことは適切でない。

# 演習1

## ストレングス(強み)を考える

---

72歳 男性 転落事故にて脊髄損傷

現在、両下肢機能全廃

身体障害者手帳 1種1級

立位・歩行は不可であるが、両手は使える

妻(健康)と同居

# 演習1 ストレングス(強み)を考える

この方のストレングス(強み)を考えて、なにができそうかを書き出してみてください



# 脊髄損傷の方のご自宅拝見

①



②



⑤



③



環境を整備することにより、できることが増える。両手が使えるという強みをどう活かしていくかを考える。突然、歩行ができなくなったら、「何もかもが不自由」と思えるようなショックに陥るが、残存能力を高めることや環境を整えることで、自立できる部分が大いことを知っておくことがとても大切である。高齢者の廃用性の課題も同様で、元気だった頃と比べて先にあきらめてしまうことにより、サービス依存になりがちである。

④



⑥



⑦



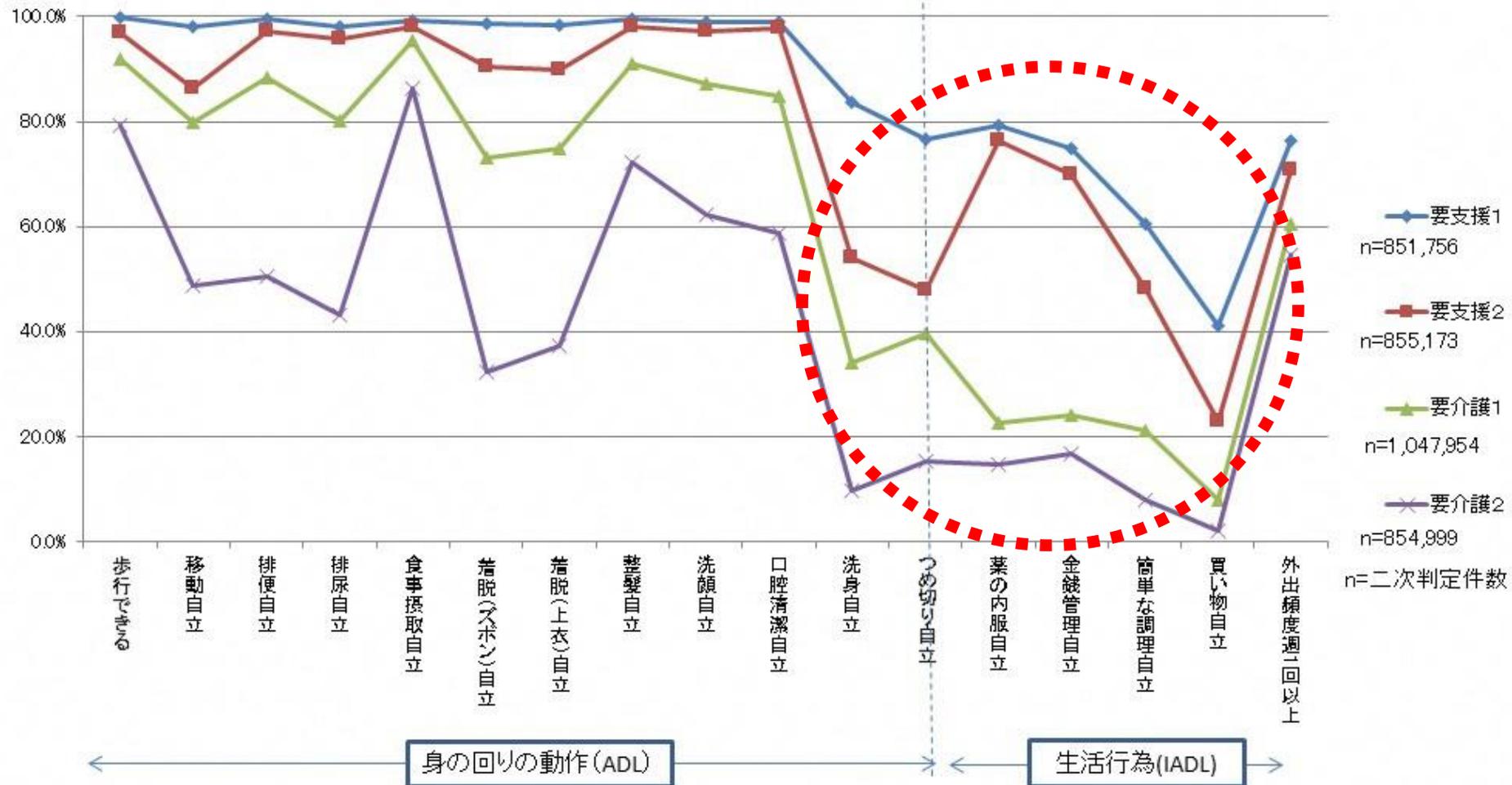
## 演習2 要支援1・2の認定者についてイメージしてみる

- ・「できる」行為とは？
- ・「できない」「しづらい」行為とは？
- ・どのような疾患の方が多い？



# 要支援1～要介護2の認定調査結果

要支援者のほとんどは、身の回りの動作は自立しているが、買い物など生活行為の一部がしづらくなっている。



※1 「歩行できる」には、「何かにつかまればできる」を含む。

※2 平成23年度要介護認定における認定調査結果(出典:認定支援ネットワーク(平成24年2月15日集計時点))

## ○日常生活動作 (ADL: Activities of Daily Living)

- ・毎日の生活を送る上で必要な基本的な身体動作群
- ・個々の人間が独立して生活する為に行う基本的で、各人ともに共通に、毎日繰り返される一連の身体的動作群  
→食事・排泄・更衣・整容(身だしなみ)・入浴  
起居動作(寝返り、起き上がり、座位、立位、歩行)

## ○手段的日常生活活動

(IADL: Instrumental Activities of Daily Living)

- ・ADLを基本にした日常生活上の複雑でより高次の動作  
→家事全般(炊事・洗濯・掃除など)  
買い物、金銭管理、趣味活動、公共交通機関の利用  
車の運転等・・

# 利用者像の多くに見られる代表的な状態

- ① **健康管理**の支援が必要な者
- ② **体力の改善**に向けた支援が必要な者
- ③ **ADLやIADLの改善**に向けた支援が必要な者
- ④ **閉じこもり**に対する支援が必要な者
- ⑤ 家族等の**介護者への負担軽減**が必要な者

その他、MCI高齢者における認知機能の低下や、うつ症状に対する支援が必要な者が想定される。

## 要支援1・2の認定者の特徴 ~1つの例示~

- 身の回りのことは自身で行っている人が多い。
- かがんだり、重たいものを持つことが難しくなる。
- 買い物やかがんで行う場所の掃除等がしづらくなる。
- 下肢筋力や体力低下に伴い、外出しづらくなる。
- 物忘れが増えたり、ミスが増えたり、今まで楽しんでいたことが楽しめなくなる人もいる。
- 入浴環境等の不具合やふろの跨ぎ動作の困難さから、自宅での入浴が困難になる人もいる。
- 生活習慣病や整形外科的疾患の人が多く、中にはがんや進行性の難病等の人も含まれる。



# 演習3 基本チェックリストから読み取れること

**基本チェックリストから読み取れそうなことは？**



# 豊島区 基本チェックリスト (届出用)

<small>同意欄</small> 介護予防ケアマネジメントの実施にあたり必要な場合はこの基本チェックリストの情報を高齢者総合相談センター及び介護予防ケアマネジメントを実施する居宅介護支援事業者に提供することに同意します。				
(利用者氏名)		代筆の場合はこちらにも記入してください (代筆者氏名) (本人との続柄)		
(生年月日) 明治・大正・昭和 年 月 日生		(利用者住所)		
		(連絡先電話番号)		
No	質問項目	回答		事務欄
1	バスや電車で1人で外出していますか	0. はい	1. いいえ	①□ 10以上  /20
2	日用品の買い物をしていますか	0. はい	1. いいえ	
3	預貯金のお出し入れをしていますか	0. はい	1. いいえ	
4	友人の家を訪ねていますか	0. はい	1. いいえ	
5	家族や友人の相談にのっていますか	0. はい	1. いいえ	
6	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	0. はい	1. いいえ	②□ 3以上  /5
7	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	0. はい	1. いいえ	
8	15分位続けて歩いていますか	0. はい	1. いいえ	
9	この1年間に転んだことがありますか	1. はい	0. いいえ	③□ 2つとも  /2
10	転倒に対する不安は大きいですか	1. はい	0. いいえ	
11	6ヶ月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	1. はい	0. いいえ	④□ 2以上  /3
12	身長( )m 体重( )kg BMI( ) < 18.5 *BMI(=体重(kg)÷身長(m)÷身長(m)) 18.5未満なら該当	1. はい	0. いいえ	
13	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1. はい	0. いいえ	⑤□ 1/1  /3
14	お茶や汁物等でむせることがありますか	1. はい	0. いいえ	
15	口の渇きが気になりますか	1. はい	0. いいえ	⑥□ 1以上  /3
16	週に1回以上は外出していますか	0. はい	1. いいえ	
17	昨年と比べて外出の回数が減っていますか	1. はい	0. いいえ	⑦□ 2以上  /5
18	周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあるとされますか	1. はい	0. いいえ	
19	自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか	0. はい	1. いいえ	
20	今日が何月何日かわからない時がありますか	1. はい	0. いいえ	
21	(ここ2週間)毎日の生活に充実感がない	1. はい	0. いいえ	
22	(ここ2週間)これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった	1. はい	0. いいえ	
23	(ここ2週間)以前は楽にできていたことが今はおっくうに感じられる	1. はい	0. いいえ	
24	(ここ2週間)自分が役に立つ人間だと思えない	1. はい	0. いいえ	
25	(ここ2週間)わけもなく疲れたような感じがする	1. はい	0. いいえ	
確認者氏名・所属等		事業対象者に該当・該当なし		
		記入内容確認		□
		介護予防手帳発行		□
実施日 年 月 日( )		実施方法 対面□ 電話聞き取り□ その他□( )		

基本チェックリストで下記の①⑦のいずれか1つでも該当した場合、「事業対象者」と判定される

- ① No.1～20 までの20項目のうち10項目以上に該当
  - ② No.6～10 までの5項目のうち3項目以上に該当
  - ③ No.11～12 の2項目のすべてに該当
  - ④ No.13～15 までの3項目のうち2項目以上に該当
  - ⑤ No.16 に該当
  - ⑥ No.18～20 までの3項目のうちいずれか1項目以上に該当
  - ⑦ No.21～25 までの5項目のうち2項目以上に該当
- (注) 該当 (No.12 を除く。) とは、回答部分に「1.はい」又は「1.いいえ」に該当することをいう。  
(No.12 の該当) BMI = 体重(kg) ÷ 身長(m) ÷ 身長(m) が 18.5未満の場合をいう。

# 豊島区 基本チェックリスト (届出用)

**同意欄**  
介護予防ケアマネジメントの実施にあたり必要な場合はこの基本チェックリストの情報を高齢者総合相談センター及び介護予防ケアマネジメントを実施する居宅介護支援事業者に提供することに同意します。

(利用者氏名)		代筆の場合はこちらにも記入してください (代筆者氏名) (本人との続柄)		
(生年月日) 明治・大正・昭和 年 月 日生		(利用者住所)		
		(連絡先電話番号)		
No	質問項目	回答		事務欄
1	バスや電車で1人で外出していますか	0. はい	1. いいえ	①□ 10以上  /20
2	日用品の買い物をしていますか	0. はい	1. いいえ	
3	預貯金のお出し入れをしていますか	0. はい	1. いいえ	
4	友人の家を訪ねていますか	0. はい	1. いいえ	
5	家族や友人の相談にのっていますか	0. はい	1. いいえ	
6	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	0. はい	1. いいえ	②□ 3以上  /5
7	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	0. はい	1. いいえ	
8	15分位続けて歩いていますか	0. はい	1. いいえ	/5
9	この1年間に転んだことがありますか	1. はい	0. いいえ	
10	転倒に対する不安は大きいですか	1. はい	0. いいえ	③□ 2つとも  /2
11	6ヶ月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	1. はい	0. いいえ	
12	身長( )cm 体重( )kg BMI( ) < 18.5 BMI( ) = 体重(kg) ÷ 身長(m) × 身長(m) 18.5未満なら該当	1. はい	0. いいえ	④□ 2以上  /3
13	食卓の片付けや掃除機がけなどの家事が、以前より難しくなりましたか	1. はい	0. いいえ	
14	食卓の片付けや掃除機がけなどの家事が、以前より難しくなりましたか	1. はい	0. いいえ	⑤□ 1以上  /3
15	食卓の片付けや掃除機がけなどの家事が、以前より難しくなりましたか	1. はい	0. いいえ	
16	食卓の片付けや掃除機がけなどの家事が、以前より難しくなりましたか	1. はい	0. いいえ	⑥□ 1以上  /3
17	食卓の片付けや掃除機がけなどの家事が、以前より難しくなりましたか	1. はい	0. いいえ	
18	食卓の片付けや掃除機がけなどの家事が、以前より難しくなりましたか	1. はい	0. いいえ	⑦□ 2以上  /5
19	食卓の片付けや掃除機がけなどの家事が、以前より難しくなりましたか	1. はい	0. いいえ	
20	食卓の片付けや掃除機がけなどの家事が、以前より難しくなりましたか	1. はい	0. いいえ	/5
21	(ここ2週間) 毎日の生活に充実感がない	1. はい	0. いいえ	
22	(ここ2週間) これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった	1. はい	0. いいえ	/5
23	(ここ2週間) 以前は楽にできていたことが今はおっくうに感じられる	1. はい	0. いいえ	
24	(ここ2週間) 自分が役に立つ人間だと思えない	1. はい	0. いいえ	/5
25	(ここ2週間) わけもなく疲れたような感じがする	1. はい	0. いいえ	
確認者氏名・所属等		事業対象者に該当・該当なし		□
		記入内容確認		
		介護予防手帳発行		
実施日 年 月 日 ( )		実施方法 対面□ 電話聞き取り□ その他□ ( )		

基本チェックリストの中身をしっかりと読み取ることが重要です。要支援認定者や虚弱高齢者には意味がある帳票です。生活全般の機能が低下している人は、IADLの低下がみとれます。うつや認知症の項目と閉じこもりの項目にも関係がありそうです。

## 基本チェックリストでも該当した場合

- ① No.1～20 まで
  - ② No.6～10 まで
  - ③ No.11～12 の2
  - ④ No.13～15 まで
  - ⑤ No.16 に該当
  - ⑥ No.18～20 まで
  - ⑦ No.21～25 まで
- (注) 該当 (No.1) 又は「1.いいい (No.12 の該当) 18.5未満の場合を

## 【基本チェックリストの有効活用】

### 参考例: 基本チェックリストの読み取り方

No.6～10の「運動機能」の5項目の捉え方。3つに機能低下があったとしてもその3つの内容に着目!

- 6. 階段を手すり...
- 7. 椅子に座った状態...
- 8. 15分位続けて歩いて...
- 9. この1年間に転んだ...
- 10. 転倒に対する不安...

6・7・10のチェックでの該当者は、他の閉じこもりやうつ、生活全般での低下項目に該当していなければ、習慣的な動作でそうしている場合が多く、実際の能力とは異なる場合がある。

8・9が該当している場合は、同じ運動器でも「課題あり」の要素が強いため、他の項目と照らし合わせ、総数の把握を行い、リスク度を判定することが重要である。

# 基本チェックリストから読み取れそうなこと ~1つの例示~

- ・物忘れの項目の該当者では、関連して閉じこもりの項目やうつ項目に該当している傾向にあるため、意識して確認する。
- ・生活全般の低下者では、運動器の機能低下がみられない場合、できる「能力」はあるものの、家族や他の支援者が代行している傾向がないか、意識して確認する。
- ・生活全般の低下+運動器+何かの該当者では、要支援認定者に類似する状態像にあることが多いことに留意する。
- ・口腔機能の低下の該当者には、義歯の不具合や歯の欠損等に注視するだけでなく、栄養状態の低下や既往歴や現病歴、内服薬の確認など、健康管理面と合わせて確認することが大切である。

- ・低栄養での該当者は、元来細身の体質の人もいるが、がんや貧血などの進行がないかなど、既往歴や現病歴の確認が重要である。
- ・閉じこもりと運動器の低下に該当する者については、廃用性の進行や痛み等の理由が潜んでいる可能性が高いことを意識して確認する。
- ・うつ傾向の強い者は生活意欲が低下していることが多く、生活全般等の項目や外出頻度等に影響していないか、意識して確認することが大切である。



※本人が主観でチェックした内容が、心身機能に合致したものであるかを丁寧に見極めることが大切である。



# 演習4 基本チェックリストで不足していること

介護予防ケアマネジメントを行う上で、  
基本チェックリストのみでは、不足している情報は？



memo

# 介護予防ケアマネジメントを行う上で、基本チェックリストのみでは、不足している情報 ~1つの例示~

## 【IADLの項目不足】

- ・家事能力は？
- ・金銭の管理能力？
- ・服薬の管理能力？
- ・外出の手段？

## 【個人・環境因子不足】

- ・健康管理(睡眠・水分摂取・精神状態・排泄の状況等)
- ・価値観、性格、疾病、痛み
- ・家族力・地域力・家屋・屋外の環境
- ・インフォーマル資源

## 【ADLの項目不足】

洗身・爪切り・更衣・排泄・食事等

## 【活動・参加の項目不足】

- ・活動や参加する場の有無
- ・意欲の有無
- ・地域での居場所の有無
- ・新しくやってみたいことの有無
- ・再開してみたい趣味や活動の有無
- ・その他



# 興味・関心チェックシート

作成日: 平成

4月 18日

氏名: 雄 様 性別: 男 生年月日 昭和 月 10日 年齢 82歳 介護者: 事業対象者

生活行為	している	してみたい	興味がある	生活行為	している	してみたい	興味がある
自分でトイレへ行く	○			生涯学習・歴史	×	×	×
一人でお風呂に入る (声かけてもらっている)	○			読書	×	×	×
自分で服を着る (そろえてもらっている)	○			俳句	×	×	×
自分で食べる	○			書道・習字	×	×	×
歯磨きをする (声かけてもらっている)	○			絵を描く・絵手紙	×	×	×
身だしなみを整える (声かけてもらっている)	○			パソコン・ワープロ	×	×	×
好きなときに眠る	○			写真	×	×	×
掃除・整理整頓 (妻がしている)	×	×	×	映画・観劇・演奏会	×	×	×
料理を作る (妻がしている)	×	×	×	お茶・お花	×	×	×
買い物 (一緒に行っている)	○			歌を歌う・カラオケ	×	×	×
家や庭の手入れ・世話 (妻がしている)	×	×	×	音楽を聴く・楽器演奏	×	×	×
洗濯・洗濯物たたみ	○			将棋・囲碁・麻雀・ゲーム等	×	×	×
自転車・車の運転	×			体操・運動	×	○	○
電車・バスでの外出 (妻と一緒にならできる)	○			散歩	○		
孫・子供の世話	○			ゴルフ・グランドゴルフ・水泳・テニスなどのスポーツ	×	×	×
動物の世話	×	×	×	ダンス・踊り	×	×	×
友達とおしゃべり・遊ぶ		○		野球・相撲等観戦	○		
家族・親戚との団らん	○			競馬・競輪・競艇・パチンコ	×	×	×
デート・異性との交流	○			編み物	×	×	×
居酒屋に行く	×	×	×	針仕事	×	×	×
ボランティア		○	○	畑仕事	×	×	×
地域活動(町内会・老人クラブ) (していた)	×	×	×	賃金を伴う仕事	×	×	×
お参り・宗教活動 (妻と一緒に)	○			旅行・温泉 (家族と)	○		
その他(コーヒーを飲みに行く)	○			その他( )			
その他( )				その他( )			

# 興味・関心チェックシートとは

- 利用者の「している」「してみたい」「関心がある」生活行為の状況の把握
- 自分の生活行為を思いつかない場合の、ヒント

## <成り立ちと注意>

老人福祉センターを利用している高齢者で、センターでの活動にニーズを把握するためのアンケートを実施。因子分析により項目を整理した研究（2005.村井）が基本として、その後、一般社団法人日本作業療法士協会が実施した老人保健健康増進等事業で試行を重ね、外部に学識者の意見を追加して完成させた。

本シートの著作権は一般社団法人日本作業療法士協会に帰属しており本シートの全部または一部の内容の変更等は著作権法上の例外を除いて禁じている。

# 興味・関心チェックシートの手順

＜シートの記入方法＞

- ①各項目ごと、現在している生活行為には、その頻度に関係なく「している」の欄に○を記入。
- ②「していない」項目については、それを「してみたい」か意向を聞く。してみたいものには「してみたい」の欄に○を記入。
- ③興味の有無を確認。している、していない、してみたい、できる、できないに関係なく、興味がある場合は「興味がある」の欄に○を記入。
- ④いずれにも該当しない場合は、「している」の欄に×を記入。
- ⑤シートには空欄があり、各地域特有の生活行為や趣味活動など、使用する場に応じて追記する。

# 興味・関心 チェックシートの 項目

興味・関心チェックシート

氏名： \_\_\_\_\_ 年齢： \_\_\_\_\_ 性別（男・女） 記入日：H\_\_\_\_年\_\_月\_\_日

※ 表の生活行為について、現在しているものは「している」の列に、現在していないがしてみたいものは「してみたい」の列に、する・しない、できる・できないにかかわらず、興味があるものは「興味がある」の列にチェックしてください。各行にも該当しないものは「している」の列にXをつけてください。リスト以外の生活行為も思い当たるものがあれば、空欄を有効活用してください。

生活行為	している	してみたい	興味がある	生活行為	している	してみたい	興味がある
自分でトイレへ行く				生花学芸・鑑賞			
一人でお風呂に入る				読書			
自分で服を着る				読句			
自分で食べる				書道・習字			
お菓子を作る				絵画描く・絵字帖			
湯で洗ったものを乾かす				パソコン・ワープロ			
好きなときにお酒を飲む				写真			
料理・惣菜調理				朗読・劇団・演劇会			
料理を作る				お茶・お花			
買い物				歌を聴く・カラオケ			
家族の手入れ・世話				音楽を聴く・楽器演奏			
洗濯・洗濯物を干す				将棋・囲碁・ゲーム			
自転車・車の運転				体操・運動			
電車・バスでの外出				散歩			
孫・子供の世話				ゴルフ・ゴルフバッグ・ゴルフ・マニキュアのエクステ			
動物の世話				ダンス・踊り			
友達とおしゃべり・会話				野球・相撲観戦			
家族・親戚との団らん				読書・読報・雑誌・パソコン			
デート・異性との交流				趣味の部			
図書館に行く				ボランティア			
ボランティア				ボランティア			
地域活動（市内会・老人クラブ）				ボランティア			
お祭り・祭り活動				ボランティア			

生活行為向上マネジメント

※ シートの番号欄（個人・年齢・性別）は、同一地区の日次生活向上委員会に提出していただき、本シートの複製・コピー等の複製・転写・複製・転写、複製・転写への入札、内容の変更等を行う場合はご遠慮ください。

生活行為	している	してみたい	興味がある
自分でトイレへ行く			ADL
一人でお風呂に入る			
自分で服を着る			
⋮			
料理を作る			IADL
買い物			
電車・バスでの外出			
孫の世話			参加
⋮			
家族・親戚との団らん			
ボランティア			
⋮			
読書			趣味
パソコン			
⋮			
畑仕事			仕事
賃金を伴う仕事			

# 演習5

## できること していること

---

以下のような場合、あなたならどう考えますか？

例①：男性虚弱高齢者⇒妻を亡くして介護申請

家事をしたことがない一人暮らし高齢者。

身体能力では掃除や買物もできる能力は伴っています。

「家事をしたことがない」という理由のみで、家事支援のサービスを希望されています。

さて、このような相談を受けた場合、あなたならどうしますか？

例②：認知症高齢者⇒調理を行うが、味付けがおかしい

行為としては、家事(調理)を遂行しようとしませんが、能力的には低下してきているため、

以前のようにうまくできなくなっています。このような方への支援をどのように考えますか？

**個人ワーク(5分)**

**お隣さんワーク(5分)**

# 演習5 できること していること

あなたならどう考える？

例①: 男性虚弱高齢者⇒妻を亡くして介護申請

例②: 認知症高齢者⇒調理を行うが、味付けがおかしい



# 「活動」の実行状況（「している“活動”」）と能力（「できる“活動”」）

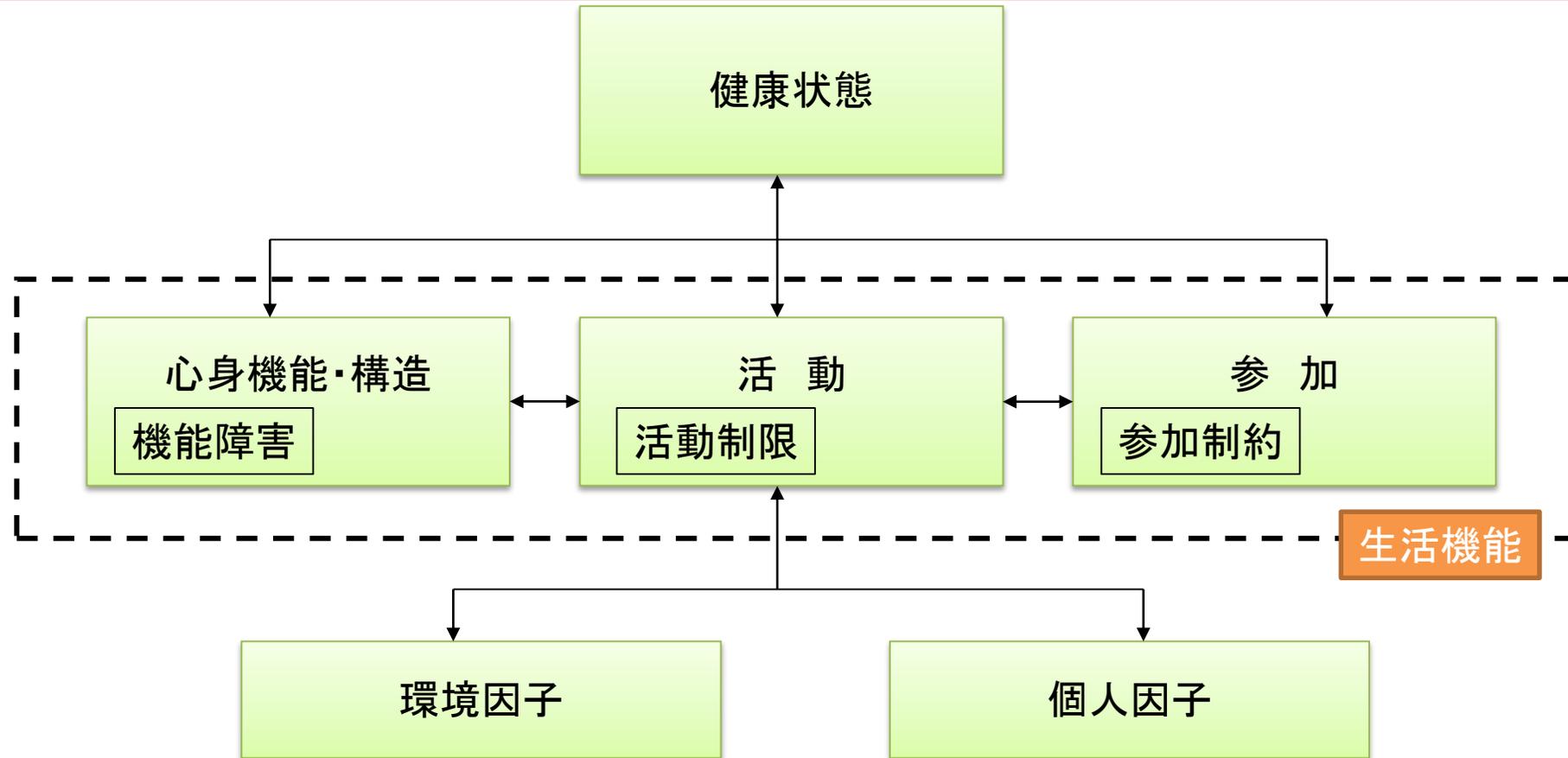


実行状況（している活動）：毎日の実生活のなかでしている状況

能力（できる活動）：評価や訓練などの場面で発揮することができる活動の状況。

能力の評価とは潜在的な生活機能を引き出すことであり、それがどれだけ有効に行えるかが生活機能向上に大きく影響する。それが「している“活動”」の向上の前提でもある。

# 国際生活機能分類(ICF)



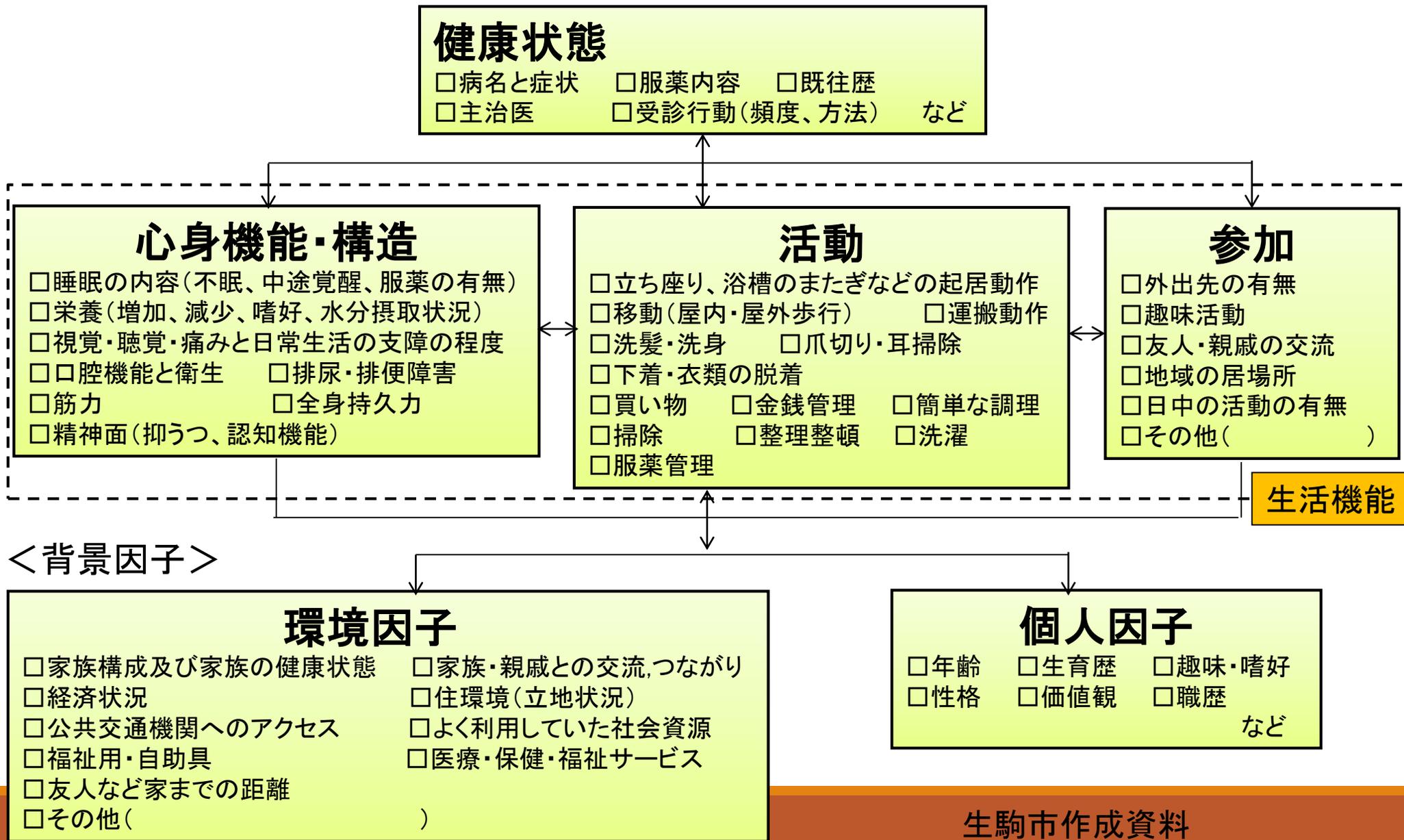
人が生きていくための機能全体を「生活機能」としてとらえ、

- ①体の働きや精神の働きである「心身機能」
- ②ADL・家事・職業能力や屋外歩行といった生活行為全般である「活動」
- ③家庭や社会生活で役割を果たすことである「参加」

の3つの構成要素からなる

# 国際生活機能分類 (ICF) からみた介護予防のアセスメントの視点例

※ICF (International Classification of Functioning, Disability and Health) : 国際生活機能分類



本人の望む生活

健康に気を付けながら、たまには行きつけだった飲み屋でかつての合気道仲間と過ごしたい

健康状態

変形性膝関節症(月1通院)  
高血圧、糖尿病

検討日	年 月 日
担当包括	
担当者	

事例	ID番号	
	性別	男
	年齢	82
	要介護度	要支援1

心身機能・構造

筋力低下  
易疲労  
右膝関節可動域制限

活動

できる活動	している活動
屋内動作は一人でできる	植木の手入れ 簡単な大工仕事 嗜好品の買い物
活動制限 立ち上がりでふらつく 30分以内の外出	

参加

以前の合気道仲間が月に一度訪ねてきてくれる。  
町会の盆踊りを見に行く。

参加制限  
5年前まで合気道をやっていたが、膝痛のためやめた

環境因子

促進因子 2階建ての戸建てに住居  
徒歩5分のところにスーパーがある。  
息子は関西

阻害因子  
駅まで徒歩20分

個人因子

妻が昨年他界し独居  
人と話をするのが好き  
家事は全くしたことがない  
機械修理や大工仕事が得意  
豊島区で生まれ育ち、34歳で結婚

豊島区自立支援地域ケア会議事例概要シート

# アセスメントにおけるポイント ①

総合事業の対象者の特徴を念頭に置いたおいたうえで、国際生活機能分類(ICF)の考え方等を基に、利用者の健康状態、生活機能と共に、背景因子となる利用者の生育歴や趣味・嗜好等や、家族状況等の情報を総合的に収集しながら、課題を探っていく。

利用者基本情報や基本チェックリストの内容は、利用者のアセスメントを行う上で、有効に活用できる情報である。

記載内容について、更に具体的な状況や、不足する情報を聴き取ったり、実際に動作を行ってみたり、その間の利用者の様子を観察したりしながら、利用者本人の能力と実際に行っている行為の状況を、客観的に判断して進める。

## アセスメントにおけるポイント ②

このような情報収集等の中で、**本人の望む生活(生活の目標)**と現状の生活の差について、「なぜ、うまくできていないのか」という要因を分析し、生活機能を高めるために必要な**「維持・改善すべき課題や悪化防止に関する課題(目標)」**を明らかにしていく。

その流れを、利用者本人及び家族と共有しながら進めていき、必要な情報提供(見通しを含む)や助言を行うことで、ケアプラン実施の際には本人・家族の取り組みを積極的に促すことにつながりやすい。

基本チェックリストの基準該当による総合事業の利用者については、主治医の意見等が付されていない。

治療中の病気の有無、病名、処方薬等の内容も、本人及び家族から聴き取ると共に、**必要に応じて主治医との連携**もとりながら、利用するサービスによって留意事項を聴き取っておくことも必要である。

## 課題分析 標準項目

利用者基本情報



基本チェックリスト



情報収集・課題分析が、  
不十分だと  
課題(ニーズ)の  
捉え方も不十分と  
なりやすい



### アセスメント領域と現在の状況

運動・移動	室内外の歩行状況。転倒歴や転倒不安。ふらつきの有無や移動先(距離)。交通機関を利用しての移動状況等。
日常生活 (家庭生活)	身の周りのことや家事全般をどうしているかについて、事実を記載。預貯金の出し入れや日用品の買い物の状況等。
社会参加・ 対人関係・ コミュニケーション	近隣との交流やコミュニケーション能力、対人関係や趣味等に関することについて事実を記載。
健康管理	健康管理の方法や通院、服薬、疾病の安定性の有無や清潔保持についての状況を記載。

memo